

*** 対話型 バージョン ***

DIR [* または ファイル名] ;

機能 :

DIR によって、ディスクのディレクトリを対話型 TSP セッションを中断せずに調べることが出来ます。

使用法:

DIR は次の 3 つの形で使う事が出来ます。最初は、

DIR *

のように省略型が使え、現在のディレクトリの中の .TSP という拡張子の付いた全てのファイルのリストをします。このコマンドが最も頻繁に使用されるのは、INPUT でファイルを検索する場合でしょう。

2 番目の形は

DIR ファイル名

で、現在のディレクトリの中で "ファイル名.*" に該当する全てのファイルをリストします。このようにして関連するインプット、アウトプット、そしてデータバンクファイルを検索するのに大変便利です。しかし、「ファイル名」は同じように処理をするので TSP 変数名にあったものでなくてはなりません。すなわち 8 文字以内で、ファイル名に拡張子は必要ありません。

3 番目の形は、最も弾力的で単に引数なしのコマンドを入力すると、ファイル名の入力要求がされます:

DIR
files:

に対して VMS ディレクトリ・コマンドに通常含まれるどんなものでもタイプできます。このようにすると現在のディレクトリ以外のディレクトリや、ファイルリスト、他の省略型の組合せ、あるいは /date, /size, 等のようなコマンド修飾語なども指定できます。